



先週のドル円

Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

先週の相場概況

- 5日

日経平均株価の大幅下落を受けてドル円は東京市場で売りが優勢に。一時105.82円まで急速に値を下げた。もっとも、海外市場では様子見ムードが広がり106.10円を挟んだもみ合いとなった。

---

- 6日

米財務省が中国を為替操作国に認定すると、米中対立の激化懸念からドル円は売りが先行し、一時105.52円まで値を下げた。ただ、中国人民銀行が人民元の基準値を市場の想定よりも元高水準に設定すると米中通貨戦争に対する過度な警戒感が後退したとして一転上昇。短期勢のストップロスを断続的に巻き込みながら一時107.09円まで買い上げられた。もっとも、一巡後は戻り売りに押されるなどその後は106円台半ばでの推移が続いた。

---

- 7日

日米株価指数の下落や米長期金利の低下を受けてドル円は売りが先行。アジアの主要中銀が相次いで利下げを発表すると世界的に金利が一段と低下し、リスク回避姿勢の高まりから105.50円まで売り込まれた。ただ、米国株が急反発し、米長期金利も一転上昇すると106.20円台まで切り返した。

---

- 8日

ドル円は週初から荒い動きが続いていたこともあり、全般様子見姿勢が高まり106.10円を挟んで方向感が出なかった。

---

- 9日

ドル円はトランプ米大統領が「9月の中国との会合はキャンセルの可能性もあり得る」などと述べると、米中貿易摩擦激化への懸念が高まったほか、FRBに1.00%の利下げを要求したことも売り材料視された。一時105.27円まで下げ足を速めた。

---

- 総括

先週のドル円は軟調な展開。週明けから株価下落を受けて売られる展開となり、6日には米国が中国を為替操作国に認定したことで売りが加速し、一時105.52円まで値を下げた。PBOCが予想ほど元安に設定しなかったで107.09円まで急反発したが、ショートカバーが一巡すると再び戻り売りが優勢に。世界的な金利低下や米大統領による中国やFRBに対する過激な発言でリスク・オフムード一色となり、一時105.27円まで売り込まれた。

## 先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値	結果
5日	23:00	月	USD	ISM非製造業指数	*	7月	55.1		55.5	53.7
6日	13:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	1.00%		1.00%	1.00%
7日	11:00	水	NZD	RBNZ政策金利	*	*	1.50%		1.25%	1.00%
9日	08:50	金	JPY	GDP速報値	年率換算	4-6月期	2.2%	2.8%	0.4%	1.8%
9日	17:30	金	GBP	GDP速報値	前期比	4-6月期	0.5%		0.0%	-0.2%
9日	21:30	金	CAD	新規雇用者数	*	7月	-0.22万人		1.25万人	-2.42万人
9日	21:30	金	USD	PPI	前月比	7月	0.1%		0.2%	0.2%

一言コメント・・・RBNZが予想以上の利下げに踏み切ったことでNZドル売りが優勢となりました。また、英GDP速報値が前期比でマイナスとなったうえ、予想を下回ったことを受けてポンド全面安の展開となりました。

## 先週の注目された要人発言

6日07:02 ムニューシン米財務長官「中国を為替操作国と認定」「不公平な競走上の優位を排除すべくIMFに働きかける」「競争的切り下げを控えるとの中国のG20での約束に違反する」  
 6日13:30 RBA声明「経済の持続的成長と長期にわたるインフレ目標の達成を支援するために必要であればさらなる金融緩和を行う」  
 6日16:16 PBOC「中国は為替操作をしていない」「中国は競争的な通貨の切り下げをしない」  
 6日22:15 クドローNEC委員長「トランプ米大統領は中国との協議継続を望んでいる」「中国への関税についての状況は変わり得る」  
 7日11:08 RBNZ声明「雇用やインフレの目標達成のためにさらなる利下げが必要であることに委員は合意」  
 7日12:07 オアRBNZ総裁「本日の決定はさらなる行動を排除しない」  
 9日03:24 サルビーニ伊副首相(同盟党首)「伊政府はもはや過半数ではない」「総選挙を実施する必要がある」  
 9日23:11 トランプ米大統領「FRBが1.00%利下げすることに期待」「華為技術(ファーウェイ)と取引するつもりはない」「9月の中国との会合はキャンセルの可能性もあり得る」「米国はドル安誘導しない、する必要もない」

一言コメント・・・オアRBNZ総裁が会見で「本日の決定はさらなる行動を排除しない」「将来的にマイナス金利を導入しなければいけない可能性」と述べるとNZドル売りが優勢となりました。また、米中貿易協議を巡るトランプ米大統領の発言に金融市場は一喜一憂する場面がありました。

## 今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
13日	18:00	火	DEM	ZEW景況感調査	*	8月	-24.5		-28.0
13日	21:30	火	USD	CPI	前月比	7月	0.1%		0.3%
14日	08:50	水	JPY	機械受注	前月比	6月	-7.8%		-1.0%
15日	10:30	木	AUD	新規雇用者数	*	7月	0.05万人		1.40万人
15日	21:30	木	USD	小売売上高	前月比	7月	0.4%		0.3%
15日	22:15	木	USD	鉱工業生産	前月比	7月	0.0%		0.1%
16日	21:30	金	USD	住宅着工件数	年率換算	7月	125.3万件		125.5万件

今週の注目は・・・米小売売上高

# 週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで  
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
  - 荻野金男
  - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
  - 今井雅人
  - エマージングアウトトラック

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。